

プロの集団 チーム碧山!

碧山だより

子供のやる気を育てます



12月号
令和2年11月30日
西東京市立碧山小学校
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-hekizan/index.html>

心にゆとりを

校長 伊藤 正明

11月の体育授業参観では、たくさんの応援、感染症対策へのご協力、PTA担当の皆様、おやじの会の皆様ありがとうございました。今週はいよいよ音楽授業参観です。子どもたちへの応援、そして事後の保護者、地域の皆様の温かい言葉が、次へのやる気と心の充実につながります。ぜひよろしくお願いたします。

最近、「心のコップが一杯」になり、些細なことで、あふれ出ている大人や子どもの様子を感じます。かくいう私も、あの言動は「あんなにピリピリと言わなくても」等と、つい些細なことに憤慨し、愚痴を言っている自分に気付き、ふと我に返りました。「あっ自分もそうかもしれない」と。

大人は、経済的な不安定さや苦しさから、子どもたちは、生活の窮屈さと、不安定になっている大人の影響から、更には、マスク生活で表情が分からず、うまく感情が伝わっていかないことへのジレンマ等、様々な新たに加わったストレス要因のひずみが「心のコップが一杯」になっている原因ではないかと。子どもたちは、様々な失敗や成功の体験を通して、善悪やより良いコミュニケーションの仕方を学んでいきます。その様子を見守り、なだめ、透かし、叱咤激励し、褒めてよりよい方向へ導いていくことが、大人の役割です。その我々大人に、今少し「心のゆとり」が不足しつつあり、結果として、子どもたちにも影響しているように感じます。この文章を、お読みいただいた皆様、お茶を飲み、ほっと一息ついて、「心のゆとり」を改めて感じてみてください。

怒りの感情を掻き立てる体内のホルモン「アドレナリン」は6秒経つと減り始めるそうです。その6秒で、どのようにアプローチした方がうまくいくのか改めて考えてみてください。

「叱って気付かせほめて育てる。」「一芸に秀でたものは多芸をこなす。」今後も子どもたちのやる気を大切に、前向きに、ほめて育てる教育を進めてまいります。

12月行事予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	火	安全指導	16	水	
2	水	金銭教育2年	17	木	放送集会 プログラミング教育6年
3	木	放送朝会 音楽授業参観リハーサル	18	金	
4	金	音楽授業参観(児童参観日)	19	土	
5	土	音楽授業参観(保護者鑑賞日)	20	日	
6	日		21	月	
7	月	委員会	22	火	体育集会 プログラミング教育5年
8	火	社会科見学4年 プログラミング教育3年	23	水	
9	水	なかよし集会2組 金銭教育4年	24	木	給食終了
10	木	金銭教育6年 環境教育5年 読み聞かせ1年3年5年	25	金	【特別時程】終業式 大掃除
11	金		26	土	冬季休業日始
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月	クラブ クラブ見学3年	29	火	12月29日～1月3日は、完全機械警備となり、学校には入れません。 1月8日 始業式 1月12日 給食始
15	火	なかよし集会3組	30	水	
			31	木	
月目標		進んで仕事をしよう			

スクールライフの
QRコード



*予告なしの避難訓練があります。

11月14日（土）に体育授業参観を行いました。感染症予防のため、低学年・中学年・高学年で分かれての開催でしたが、滞りなく実施することができました。ご協力ありがとうございました。

低学年 **碧山元キッズ～ガオガオオールスター☆紅蓮華～**

1年生が踊った曲は、「ガオガオオールスター」。アニメのエンディングテーマにもなった曲で、カラフルな衣装に着替えたアーティストがモンスターになって踊っている動画も公開されています。リズムカルな曲に合わせて、子どもたちもかわいいモンスターに変身し、元気よく踊りました。

2年生は、今話題のアニメ「鬼滅の刃」でお馴染みの「紅蓮華」の曲に合わせて踊りました。踊りの中には今年話題になったダンスも入れて、「たのしく、かっこよく、リズムよく」をテーマに踊りました。全員で行ったウェーブは練習ではなかなか上手くできませんでしたが、本番は子どもたちが心を一つに表現することができました。



中学年 **Festivo 2020**

3・4年生は「心を一つに」を合言葉に、練習に取り組んできました。初めは腕の回し方ひとつにも苦戦しましたが、休み時間も自主的に練習に取り組み、日を追うごとにキレのある大きな動きになってきました。

3年生と4年生とで合同練習する際には、4年生は後輩に格好いい姿を見せたい、3年生はお兄さんお姉さんのようになりたいと良い刺激を与え合い、いつも以上に気合を入れて踊ることができました。

当日はこれまでで一番集中し、「心を一つに」した踊りを披露することができました。



高学年 **碧山ソーラン 2020「本気」**

ソーラン節は、春に行われたニシン漁が起源と言われています。まだ寒い春の海で、最も力が必要であった沖上げの際、「ソーラン ソーラン」の掛け声を上げながら作業をしたことが始まりだそうです。そのソーラン節に最初に挑んだのは、2018年。中学年の頃に、202人が南中ソーランに挑みました。「碧山ソーラン2018」のテーマは「力強さ」でした。中学生用に作られた南中ソーランを、3・4年生の中学年でも迫力ある踊りができるようにと、「力強さ」を追求して練習をしていきました。

2年後の2020年。心も体も成長した高学年207人の「碧山ソーラン2020」のテーマは「本気」。6年生は最高学年としてのあるべき姿を練習を通して5年生に伝えました。そんな6年生の姿を見ながら、5年生はしっかりとそのバトンを引き継ぐ準備を整えました。腰を低く・タイミングをそろえる・視線を意識するなど、5年生と6年生がお互いに高め合いながら、「本気」で練習に取り組み、本番に臨みました。

